

公表:令和 7 年 3 月 24 日

事業所名 クリッパーズ

配布数 36 回収数 31 割合 約86 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	28	3	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切である	31	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	16	14	1	バリアフリーを求めているので大丈夫です。	2Fの施設ということもあり、こうしたご意見を頂いているのだと認識している。現状では年齢や特性に応じて、職員配置をして安全な移動について体制を整えている。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	31	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	27	4	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	19	5	交流は機会がないようですが、デイサービス内の子ども同士の交流だけでも十分です。/なくてもいいので大丈夫です。	こうした機会を整えていくことの一環はあまりないと認識している。現状では、児童館のイベント参加や近隣の公園などで学童や近隣のお子さんとともに交流する機会がある。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	31	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	31	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	16	10	「保護者同士の連携」という点でいいえにしましたが、特に不満はありません。/あれば参加してみたいです。/参加したことないため不明	ニーズの高まりがより出てきていたので、それぞれの会でのテーマを設定し、開催に向けて検討していく
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	22	9	0	そのようなことが無いのでわかりません/苦情を入れたことが無いのでわかりません/そのような場面になったことが無いため不明	日々の連絡を密にすることで、ご相談に対して対応している。その中でご要望に対して真摯に受け止め、迅速に対応させて頂いている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	31	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	28	3	0		
	⑭	個人情報に十分注意している	31	0	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	30	1	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	31	0	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	30	1	0		
	⑱	事業所の支援に満足している	31	0	0		

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 3月 24日

事業所名 クリッパーズ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0		
	②	職員の配置数は適切である	10	1	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	8	1	身体障害のある利用者が現時点でいないので段差の改修などはしていない	今後必要性が高まってきた際には、順次検討していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	1	0		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	4	現状適切な第三者機関が見つからない	より開かれた運営に向け、必要に応じた対応を検討していく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	0		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	0		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	1	0		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	10	1	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	5	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-	現状対象者なし	対象者が利用する際には、連携体制を整える
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	5	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	6	0		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3	0		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	7	1		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	4	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	5	0		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1	0		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	3	要望はあるため機会を整える方向で調整中	ニーズの高まりがより出てきていたので、それぞれのテーマを基に会の開催に向けて検討していく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	0		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	0		
	③⑤	個人情報に十分注意している	11	0	0		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5	2		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	0	0		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	0		
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	0		
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2	0		
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2	0	アレルギーについては保護者からの申し出に寄っている	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	0		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人ひの・Ｉ－ＢＡＳＹＯ 放課後等デイサービス クリッパーズ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 42名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	11名
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「満足度」という直接子どもたちご本人に対する支援の部分では、高評価を頂くことが毎年できている。	日々の活動計画において、基本的に子ども達のやりたいことを実現できるような準備や環境整備、職員の方々の対応方法を常に確認しながら支援を行っている。そのやりたいことの中で、保護者様の要望やこちらが関わる上で必要だと考える支援内容をバランスよく組み込むことができている、それが満足度として表れているのだと考える。	今後も子ども達の気持ちに都度最大限寄り添い、この場が安心して過ごすことができるように、日々向き合い意見を交わしながら支援をしていく。またそれらがより広がるよう、職員間でのコミュニケーションや研修の充実、保護者とのより細やかな連携を図っていく
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の仕組み上、バリアフリーに関する懸念点を頂くことが多い。	2Fの施設ということもあり、年齢が低い利用者様や身体的に課題がある利用者様に負荷をかけてしまうことはあると認識している。	施設改修は難しいのが現状である。ただし、現状指摘はあるものの、改善を強く要望する声は見当たらない。また現状において、それらが負担とならないように安全面の配慮や、職員の対応等により環境自体を最大限整えている状況である。今後もご指摘に対して耳を傾けながら、都度対応していく
2	保護者会のような集まる機会がないということに対する指摘を毎年頂くことが多い	事業所としての体制や社会情勢上（コロナ禍）の時期もありなかなか実施できなかったのが現状としてある。要望としていただく機会は多いので、実施の検討は行っているが、現状どのような開催方法が有効的かまとまっていない。	今後もご要望にお応えできるよう、開催に向けた検討を継続し、できるだけ早くに開催できるよう準備検討を進めていく
3			